

簡易施工ガイド

J1ESS-HB58X/115/173 住宅用蓄電システム

SolaX アフターサービス・コールセンター

TEL. 080-0100-2327 9:00~19:00 (土日・祝日・休業日を除く) E-mail service.jp@solaxpower.com

本書はパワーコンディショナの施工方法について簡易的に説明しています。安全上のご注意、施工方法の詳細、トラブルシューティングなどについては、施工説明書をご確認ください。

外形寸法・同梱品

蓄電システム本体筐体 (54kg)

本体蓄電池ユニット (72kg)

部品名	数量
平座金	4
角スペーサ	4
結束バンド	20
蓄電池固定金具用ネジ (M5)	4
蓄電池固定金具	2

パワーコンディショナ (31kg)

増設蓄電池筐体 (29kg)

部品名	数量
交流側用防水カバー	1
資料 (PCS取扱説明書、検査成績書)	1
PVコネクタ (+)	3
PVコネクタ金属端子 (+)	3
PVコネクタ (-)	3
PVコネクタ金属端子 (-)	3
通信ケーブル用防水コネクタ	3
RJ45コネクタ	2
丸形端子8mm ² (系統ケーブル・アース線用)	4
端子カバーΦ7.2 x Φ6.2 x 21 mm	4
丸形端子5mm ² (重要負荷ケーブル用)	3
端子カバーΦ5.7 x Φ5.2 x 20 mm	3
コネクタブラケット	2
M5×L12ネジ	4
M5×L14ネジ	2
PCS用アース線 (250mm)	1
室内リモコン接続ケーブル (1500mm)	1
M4×L8ネジ	2
タッピングスクリュー	4
露出ボックス	1
室内リモコン	1
逆流防止用CT	1

部品名	数量
資料 (増設蓄電池検査成績書)	1
締めネジ (アース線用)	2
蓄電池通信ケーブル (2200mm)	1
蓄電池ケーブル (+) (220mm)	1
蓄電池ケーブル (-) (220mm)	1
アース線 (220mm)	1
アース線 (250mm)	1

増設蓄電池ユニット (68.5kg)

部品名	数量
資料 (増設蓄電池検査成績書)	1
締めネジ (アース線用)	2
蓄電池通信ケーブル (2200mm)	1
蓄電池ケーブル (+) (220mm)	1
蓄電池ケーブル (-) (220mm)	1
アース線 (220mm)	1
アース線 (250mm)	1

現地調達するケーブル部材・機器・工具

ケーブル・線材	規格・種類	推奨配線長さ
PV ケーブル	PV ケーブル CV3.5mm ² × 6本 (正負各3本)	700mm以上
K 線	系統ケーブル CV8mm ² × 3芯	600mm以上
L 線	重要負荷ケーブル CV5.5mm ² × 3芯	600mm以上
筐体アース線	IV5.5mm ² (または8mm ²)	750mm以上
室内リモコン延長ケーブル	UTP ケーブル	600mm以上
CT 延長ケーブル	UTP ケーブル	600mm以上
RS485 ケーブル (出力制御用)	UTP ケーブル (オプション)	600mm以上
LAN ケーブル (Pocket LAN接続用)	UTP ケーブル (オプション)	600mm以上

パーツ・消耗品	規格・種類	ブレーカー	推奨規格
PF 管 (指定部品)	耐候性のある二重タイプを推奨	連系ブレーカ	逆接続可能型 定格感度電流30mA 定格電流≧50A
	J1ESS-HB58X : φ28 (4個) J1ESS-HB115 : φ28 (4個), φ36 (2個) J1ESS-HB173 : φ28 (4個), φ36 (3個)	切替開閉器	単相3線 100V/200V 定格電流≧30A
コルゲートチューブ	ケーブル収納・保護用	重要負荷 ブレーカ	逆接続可能型 単相3線式 欠相保護付 定格感度電流30mA 定格電流≧30A
接地用アース棒	ケーブル収納・保護用		単相3線式 100V/200V 定格電流≧30A
配管用パテ	PF 管の穴埋め用		
ケーブルラベル	配線識別用		
壁面取付けヒートン	本体筐体の転倒防止用固定金具と接続するもの		
アンカーボルト	筐体取付用 4-M12ステンレス鋼を推奨		

- 【設置用工具】
- 電動ドリル

マルチメーター

巻き尺

多用途ナイフ

マイナスイドライバー

プラスドライバー

精密ドライバー

六角レンチ

ワイヤーストリッパー

RJ45 圧着ペンチ

PV 端子圧着ペンチ

丸形端子圧着ペンチ

マーカーパーン

ゴムハンマー

ワイヤーカッター

水準器

トルクレンチ

斜めニッパー

吸塵機

ロックリング

防塵マスク

作業手袋

安全靴

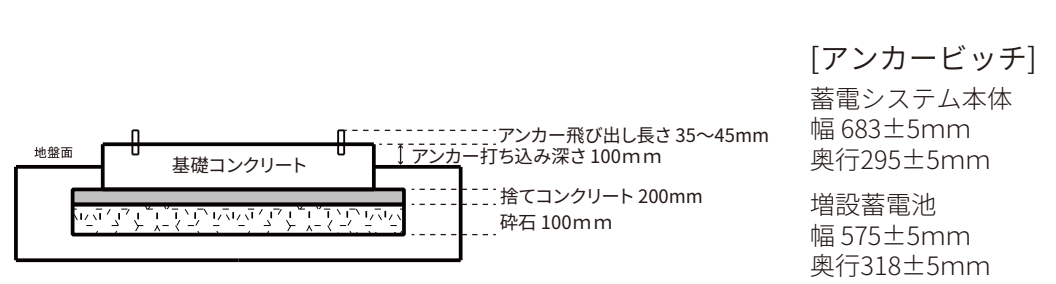
安全ゴーグル

基礎工事

蓄電池システムに十分耐えられる基礎を用意してください。

置き基礎を使用する場合
メーカー指定の施工説明書に従って施工してください (推奨製品：東洋ベース製LG500)。

砂利の場合の設置方法
設置場所に砂利や碎石等が敷設されている場合は、基礎範囲の砂利や碎石等の敷設物を取り除き、十分に転圧を行った上で平らな安定した土間を形成し、基礎を仕上げてください。



1. 蓄電システム本体筐体、増設蓄電池筐体の設置

蓄電システム本体筐体

1 扉の固定ネジを外し、下部を手前に引きながら扉を外す

増設蓄電池筐体

増設蓄電池筐体 (J1ESS-HB115/173 で使用) は左記同様に設置してください。

● ネジを保管してください。

● 取り外した扉は養生シートなどの上に置き、直接地面に置いたり壁に立てかけたりしないでください。

2 ロックリングで筐体をアンカーボルト4本に固定する

指定部品: M12 ナット (締付トルク 42 ~ 43N・m)

指定部品: ワッシャー

同梱品: 平座金

同梱品: 角スペーサ

3 補強枠を取り外す

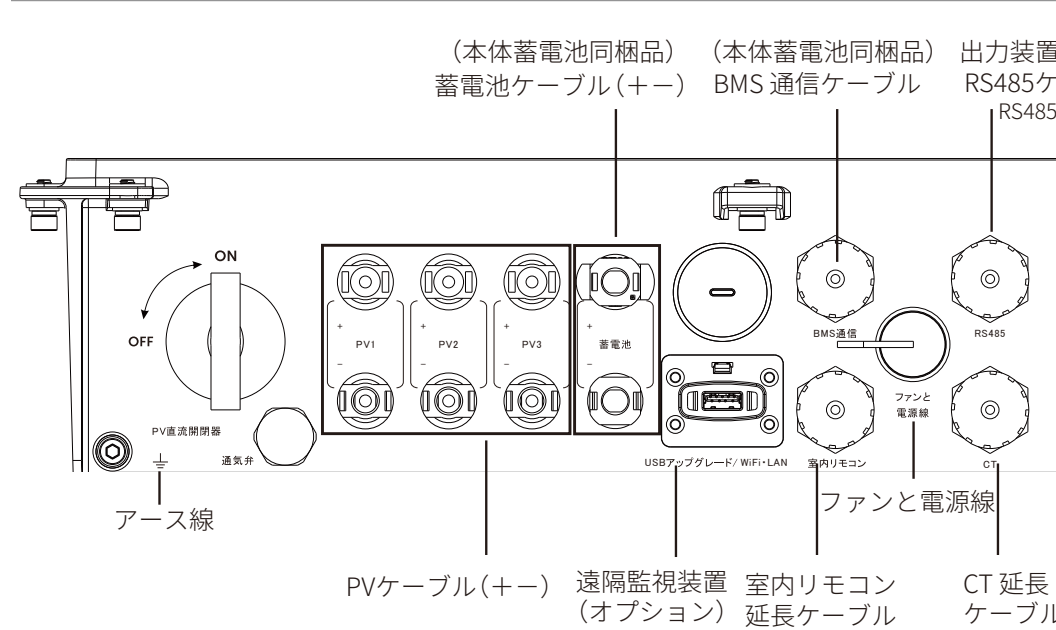
左右2カ所ネジを取り外す

3. 本体筐体へのケーブル引き込み

- 本体筐体背面の配管接続口4か所の蓋をタガネ等で外し、PF 管φ28 用コネクタ4個を取り付ける
- J1ESS-HB115/173 では、中央部分の穴 (PF 管5) にPF 管φ36 用コネクタを装着する
- 現場状況に見合った長さ寸法のコルゲートチューブを準備し、ケーブル分配後にコルゲートチューブを取り付ける

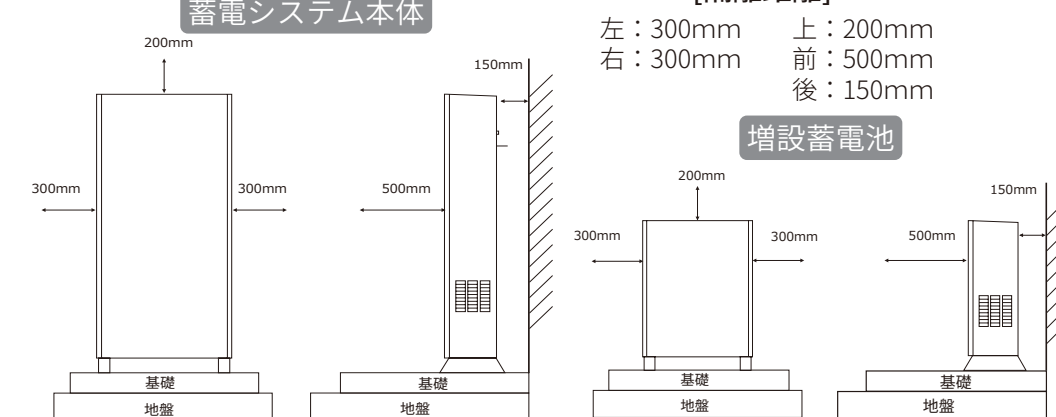


4. パワーコンディショナ端子部の配線



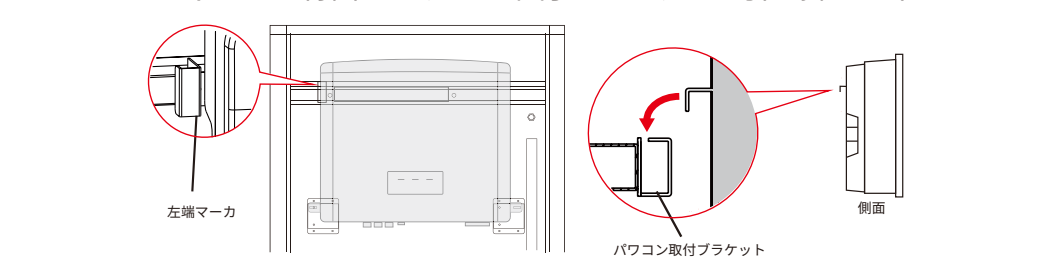
設置スペース

機器の周囲に下記のスペースを確保してください。また、蓄電システム本体を左側、増設蓄電池を右側に設置します。それぞれのアンカーボルト間に300mm ~ 350mm の距離をあけてください。

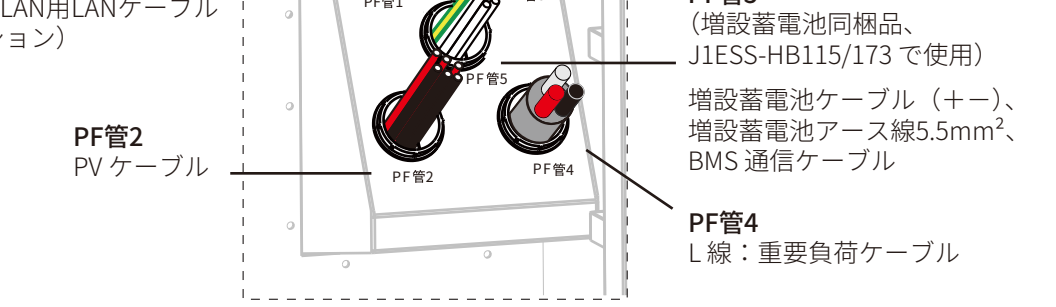
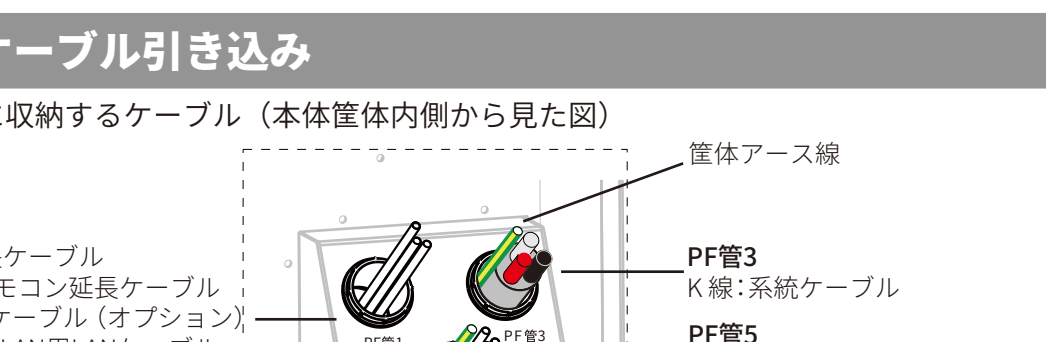


2. パワーコンディショナの設置

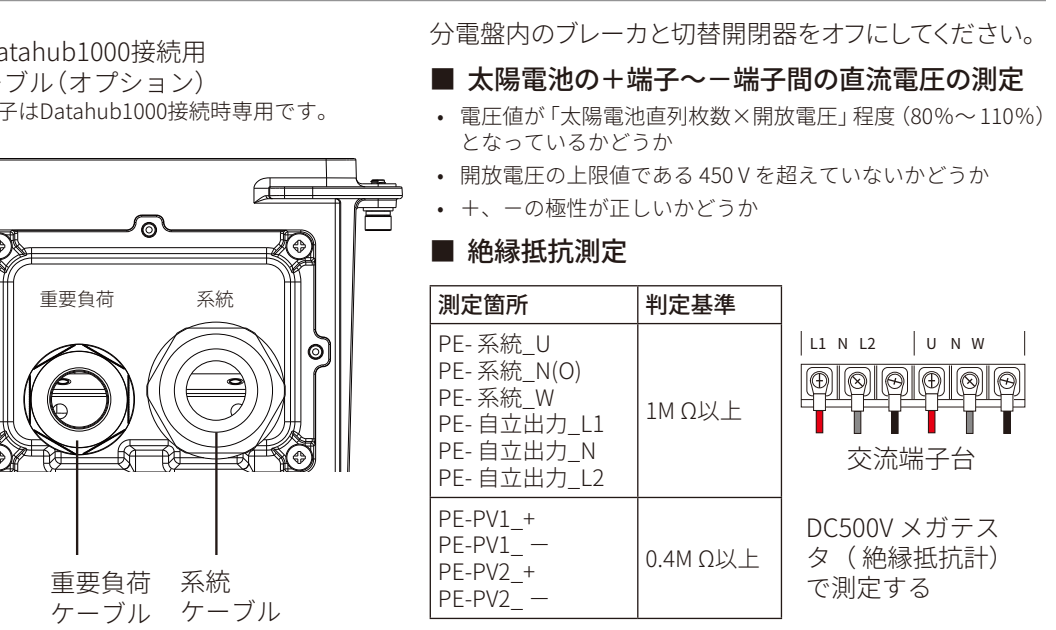
- パワーコンディショナの左右に、コネクタブラケットをそれぞれ2本のネジ (M5 × L12) で固定する
- パワーコンディショナ下部のアース端子のネジを外し、同梱されているアース線をネジで固定する
- パワーコンディショナの左端を筐体奥の左端マーカに合わせて筐体に入れ、パワーコンディショナ背面のフックを取付ブラケットに引っ掛けて吊るす



- コネクタブラケットを本体筐体2か所の取付金具にネジ (M5 × L14) で固定し、パワーコンディショナのアース線を筐体左側のPCS 接地箇所固定する

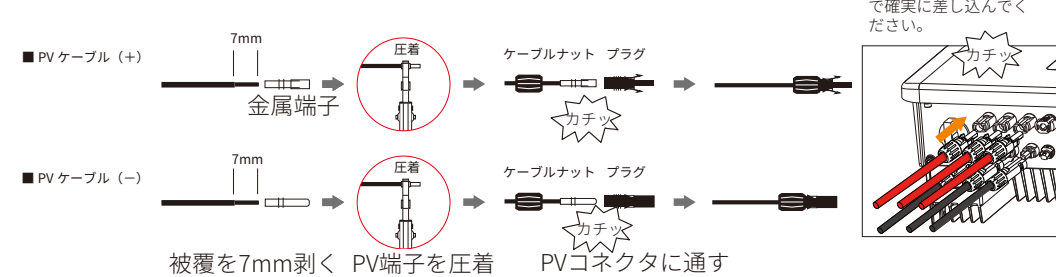


4. パワーコンディショナ端子部の配線

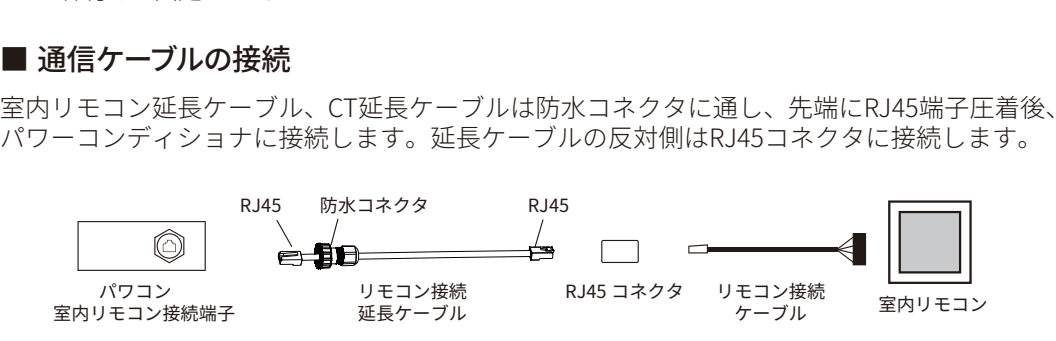


5. パワーコンディショナの配線

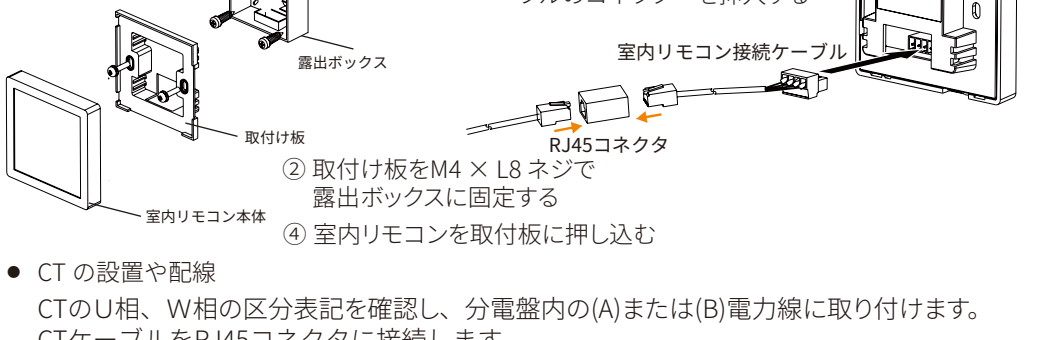
■ PVケーブルの接続
PVケーブルの被覆を7mm剥き、金属端子を圧着します。圧着後、PVコネクタにケーブルを通し、PV端子に接続します。



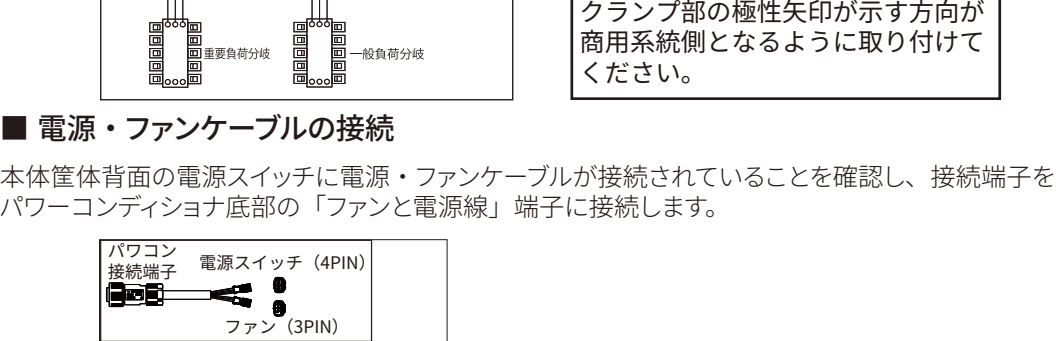
- 系統ケーブル、重要負荷ケーブルの接続
- 防水カバーの防水ボルトキャップを緩めます。
 - 重要負荷ケーブル (L 線)、系統ケーブル (K 線) を加工してから、防水カバーを通して、交流端子台に接続します。
 - 防水カバーをパワーコンディショナに取付けて四隅をネジ止めし、防水ボルトキャップを防水カバーに締付けて固定します。



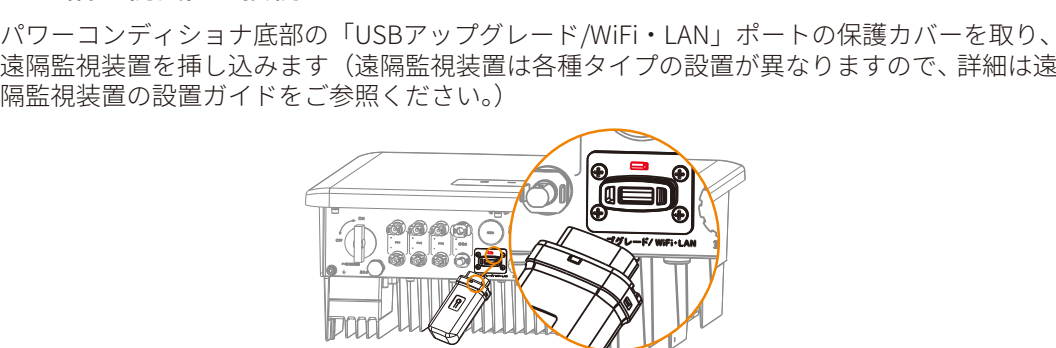
- 通信ケーブルの接続
- 室内リモコン延長ケーブル、CT延長ケーブルは防水コネクタに通し、先端にRJ45端子圧着後、パワーコンディショナに接続します。延長ケーブルの反対側はRJ45コネクタに接続します。



- 室内リモコンの設置や配線
- 露出ボックスをタッピングネジ4本で壁にネジ止める
 - 取付け板をM4 × L8 ネジで露出ボックスに固定する
 - 室内リモコンを取付板に押し込む



- CT の設置や配線
- CTのU相、W相の区分表記を確認し、分電盤内の(A)または(B)電力線に取り付けます。CTケーブルをRJ45コネクタに接続します。

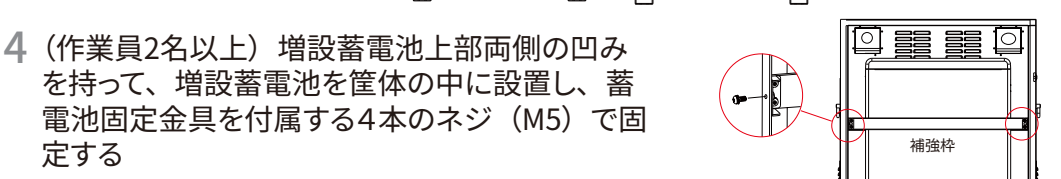


6. 本体蓄電池の設置、配線

- ## 7. 増設蓄電池の設置、配線

1 増設蓄電池筐体のケーブル引き込み口にPF 管Φ 36 コネクタを装着する

- | 増設蓄電池左側
「+」端子「XPLUG」 | 増設蓄電池同梱品 | 〔本体蓄電池右側面〕 | 〔増設蓄電池A左側面〕 |
|-------------------------|-------------|------------|--------------------|
| | 蓄電池ケーブル (+) | 分岐接続端子 (+) | ⇒ + 端子 |
| | 蓄電池ケーブル (-) | 分岐接続端子 (-) | ⇒ XPLUG端子 |
| | BMS 通信ケーブル | 増設蓄電池通信端子 | ⇒ RS485 1 端子 |
| | アース線1 | アース端子 | ⇒ 筐体アースA接地点1 |
| | アース線2 | アース端子 | ⇒ 筐体アースA接地点2⇒アース端子 |



-

8.DIP スイッチの設定

- | 型式 | 増設蓄電池
台数 | DIP
スイッチ |
|-------------|-------------|-------------|
| J1ESS-HB58X | 0 | 0 |
| J1ESS-HB115 | 1台 | 1 |
| J1ESS-HB173 | 2台 | 2 |

9. 試運転

- | 手順 | 操作部 | 操作対象 | 状態 |
|----|-------|--------------------------|----|
| 1 | PCS | パワーコンディショナPV 直流開閉器 | オン |
| 2 | 本体蓄電池 | 蓄電池DC ブレーカ、蓄電池ユニット電源スイッチ | オン |
| 3 | 本体筐体 | 電源スイッチ（本体筐体背面） | オン |
| 4 | 分電盤 | 連系ブレーカ | オン |
| 5 | 分電盤 | 切替開閉器 | オン |

① 現在の日時、契約電流を設定する

この契約容量＝設定値の契約電流ではありません。

初期パラメータ設定	
日付	20210404 05:25 17:22
19	02 23 15 20
20	03 24 16 21
21	平 04 月 25 日 17 時 22 分
22	05 26 18 23
23	06 27 19 24
契約電流	60A
次へ	

② 電力会社の指示に従って、整定値を設定する

整定値	
OVR	115.0V 1.0s
UVR	80.0V 1.0s
OFr	51.0Hz 1.0s
UFR	48.5Hz 1.0s
受動的方式	≧10度
復帰時間	300S
次へ	

保護機能	説明	設定範囲	初期値
OVR (交流過電圧)	OVR検出レベル	110.0V、112.5V、115.0V、120.0V	115V
	OVR検出時間	0.5s、1.0s、1.5s、2.0s	1.0s
UVR (交流不足電圧)	UVR検出レベル	80.0V、82.5V、85.0V、87.5V、90.0V	80.0V
	UVR検出時間	0.5s、1.0s、1.5s、2.0s	1.0s
OFR (過周波数)	OFR検出レベル	50Hz地域整定範囲： 50.5Hz、51.0Hz、51.5Hz	50Hz地域： 51.0Hz
		60Hz地域整定範囲： 60.6Hz、61.2Hz、61.8Hz	60Hz地域： 61.2Hz
	OFR検出時間	0.5s、1.0s、1.5s、2.0s	1.0s
UFR (不足周波数)	UFR検出レベル	50Hz地域整定範囲： 47.5Hz、48.0Hz、48.5Hz、49.0Hz、49.5Hz	50Hz地域： 47.5Hz
		60Hz地域整定範囲： 57.0Hz、57.6Hz、58.2Hz、58.8Hz、59.4Hz	60Hz地域： 57.0Hz
	UFR検出時間	0.5s、1.0s、1.5s、2.0s	2.0s
受動的方式 (受動的単独運転検出)	検出レベル	±3度、±5度、±7度、±10度	±10度
復帰時限 (復電後一定時間の遮断装置投入阻止)		1s、5s、150s、300s	300s
並列時許容周波数		50Hz地域整定範囲： 50.10Hz～51.00Hz (0.05Hz刻み)	50Hz地域： 51.0Hz
		60Hz地域整定範囲： 60.10Hz～61.00Hz (0.05Hz刻み)	60Hz地域： 61.0Hz
単機能		ON/OFF	OFF
電圧上昇抑制機能	検出レベル (進相無効電力制御)	OFF/105～112.5V (0.1Hz刻み)	107V
	検出レベル(出力制御)	OFF/107～114.5V (0.1Hz刻み)	109V

検出項目	検査確認事項
蓄電池 充電検出完了	分電盤内の全てのブレーカがオンになっていること 蓄電池のDC ブレーカがオンになっていること
蓄電池 放電検出完了	蓄電池の残量を初期設定の10%を下回ると放電できません。
太陽光 発電検出完了	室内リモコンでPV 電圧電流のデータに異常がないこと PV ケーブルがしっかりと接続されていること
停電モード運転 検出完了	重要負荷に接続された負荷の合計電流が規定以下であること(29.2A 以下)
停電復帰動作 検出完了	蓄電システム本体の電源スイッチを切って、パワーコンディショナをオフにします。再度電源をオンにして、パワーコンディショナを再起動します。

SolaXCloud アプリの利用

-

発電所の基本情報（発電所の名前、システム容量（設定範囲は0-99999999）、国/地域、タイムゾーン、場所）を入力します。フォルトで最初に表示、サマータイムの適用有無、販売店/施工店へリモート設定権限を付与するかどうかを選択します。完了したら、「次へ」をタップします。

① 追加するデバイスを選択

WiFi+4GM WiFi+LAN WiFi V3.0

WiFi V3.0-P WiFi V3.0-E 4G V3.0

② 登録番号をスキャンまたは入力

スキャン

登録番号を入力してください

デバイスが見つかりました ×

この画面が表示されたら、「次へ」をタップする

次へ

デバイスのバインドに成功しました。

デバイスがオンラインになるようにするために、次のことを確認してください。

1. デバイスが電源に接続されているかどうか。
2. デバイスがインターネットにアクセスできるネットワークケーブルに接続されていますか？

× Wi-Fi

デバイスのネットワークの設定

① 利用可能な Wi-Fi を選択し、パスワードを入力する

Wi-Fi - 5GHz

✓ Wi-Fi - **2.4GHz**

このデバイスでは5GHz Wi-Fi はサポートされていません。選択してください**2.4GHz Wi-Fi**

(ホーム Wi-Fi)

Wi SolaxGuest

パスワード

IP DHCP >

② IPアドレスの設定方法を選択する
DHCP：追加の設定は不要です。
固定IP：ネットワークパラメータ（IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および必要に応じてDNSサーバーアドレス）を入力してください。

次へ

02:57

③ Wifi_設備SNのSSIDに加入する

“SolaXCloud” 想要加入无线局域网“SolaXCloud”吗?

取消 加入

④ デバイスのホットスポットに接続する

⑤ デバイス通信の検出

⑥ デバイスをルーターに接続してください

⑦ クラウドでのデバイス登録

完了

アプリホーム画面の表示

番号	説明
a	デフォルト発電所の名前と状態を表示する。発電所の状態には、正常、オフライン、接続中、警告の4つの状態がある。
b	現在の天気状況
c	メッセージ通知
d	発電所と設備追加の入口
e	動的グラフ切り替えアイコン
f	エネルギーフロー図（抽象と具象）：バッテリー、電力会社、太陽光発電と負荷間のフロー状況を動的に表示
g	発電所の今日の収益、昨日の収益と総収益を表示
h	バッテリー関連データを表示 バッテリーSOC、バッテリー残量、バッテリー使用時間、バッテリー充放電状態、今日の発電量と今日の消費電力量を含む。
i	発電所が創出した環境利益を表示 評価指標はCO2削減量、相当する植樹×本、石炭削減量がある

リモート設定

- 1858258021@ipc.com Sit...

正常

設備



オンライン



WIFI3.0

J1-ESS
J136231181676238

SXJA767676238

すべてのデータが読み込まれました

リモート設定

バックアップパスワード

インバータ出力解析

2025-01-15 月

W

3,000
2,000
1,000
0
-1,000
-2,000

00:04:50 05:14:56 10:25:03 15:35:09

Power(W)

現在の統計

2025-01 月

kWh

6
5

- | <p>充電時間帯設定では、電力会社からの充電開始・停止時刻と、蓄電池からの放電開始・停止時刻を設定します。</p> <p>系統からの充電が不要の場合、充電時間帯を重複に設定してください。</p> <p>例：充電時間帯を 6:00-6:00 に設定すれば、系統からの充電はしません。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="2461 1921 2564 1926">グリーンモード夜間充電量 (%)</th><th data-bbox="2564 1921 2721 1926"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="2461 1926 2564 1930">50</td><td data-bbox="2564 1926 2721 1930">保存します</td></tr> <tr> <td data-bbox="2461 1930 2564 1935">充電時間帯設定</td><td data-bbox="2564 1930 2721 1935">▼</td></tr> <tr> <td data-bbox="2461 1935 2564 1939">契約電流</td><td data-bbox="2564 1935 2721 1939">▼</td></tr> </tbody> </table> | グリーンモード夜間充電量 (%) | | 50 | 保存します | 充電時間帯設定 | ▼ | 契約電流 | ▼ |
|--|---|------------------|--|----|-------|---------|---|------|---|
| グリーンモード夜間充電量 (%) | | | | | | | | | |
| 50 | 保存します | | | | | | | | |
| 充電時間帯設定 | ▼ | | | | | | | | |
| 契約電流 | ▼ | | | | | | | | |

充電時間帯設定では、電力会社からの充電開始・停止時刻と、蓄電池からの放電開始・停止時刻を設定します。

系統からの充電が不要の場合、充電時間帯を重複に設定してください。

例：充電時間帯を 6:00~6:00 に設定すれば、系統からの充電はしません。